

年が明け、もうすぐ新年度を迎えます。今年度の整理を始めたり、新年度に向けての準備に忙しい時期。つい時間がたつのを忘れ・・・何てことも。過剰なストレスや不規則な生活が続くと体力低下、免疫力低下を招きます。

「いつもは大丈夫なのに、これを食べて蕁麻疹がでた・・・」とか

「風邪をひいたら持病のアトピー症状がひどくなった・・・」など免疫の過剰な反応（アレルギー反応）を経験した人も。

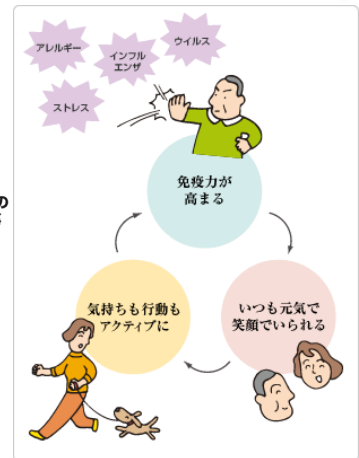
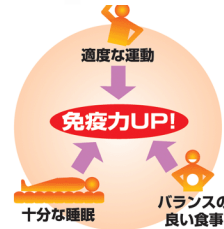
図-1

アレルギーの種類は図-1を参考に！！原因は様々ですが、体力や免疫力とも密接しています。種類によっては、症状が始めると長期の治療が必要なこともあります。

生活リズムを整え、基礎体力を高め免疫力UPにつなげて行きましょう。

アレルギーの種類	病名
I型アレルギー	じんましん、花粉症、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、アナフィラキシーショックなど
II型アレルギー	リウマチ熱、橋本病、円形脱毛症など
III型アレルギー	関節リウマチ、アレルギー性血管炎など
IV型アレルギー	接触性皮膚炎、ギラン・バレー症候群など
V型アレルギー	パセドウ病など

今回はI型アレルギー症状出現時によくあるQ&Aをお伝えします。



Q1「皮膚にボツボツが・・・。何科にいけばいいの？」

A1「かかりつけの病院でもできますが、多くは内科・小児科・皮膚科・耳鼻科の受診をお勧めします。」

Q2「アレルギーの検査はどんなことをするの？料金は？」

A2「一般的に①血液検査（採血によるスクリーニング検や確定検査）
②皮膚検査（スクラッチ・パッチ・皮内）が実施されます。」

Q3「アナフィラキシー症状をおしえてください！」

A3「アナフィラキシーでよくみられる症状として、じんましん、発赤、むくみ、皮膚の痒み、咳、喘鳴、呼吸苦、腹痛、嘔気、嘔吐、下痢、および血圧低下を伴うショック等があげられます。また視野が急に暗くなったり、しびれ、脱力感、のどが締め付けられ詰まる感じなどもアナフィラキシーの自覚症状としてみられます。これらの症状は、体調やアレルギーの量などによってをも異なります。」

☆ アレルギー スクリーニング検査 ☆

抗体1項目の保険点数（料金）は110点（1,100円）で、この2割（3割）が自己負担金です。
13項目：1,430点（14,300円）まで保険適応です。2割負担で2,860円、3割負担で4,290円です。
そのほかに判断料、採血料が加算されます。



福島県立医科大学は敷地内全面禁煙です。大学健康管理センターでは、現在喫煙している教職員・学生を対象に禁煙サポートを行っております。お気軽にご利用ください。

参考文献：日本アレルギー学会ホームページ
アレルギーと免疫 Bing images
日本皮膚科学会
厚生労働省ホームページ

大学健康管理センター

・電話：024-547-1822/1884 ・内線：5260/5263 ・メール：kenkou@fmu.ac.jp
・場所：8号館 2階 東側 ・開所時間：8:30～17:15(土日祝日及び12/29～1/3を除く)